

比較して下さい及び対照して下さい: Cisco IP MPP 電話及び Cisco Unified IP Phones

目標

この技術情報はエンタープライズ (大きい) ビジネスのためになされる Cisco Unified IP Phones 説明します、と Cisco マルチプラットフォーム電話 (MPP)、中小サイズ ビジネスのために作られる、の類似性および違いを。1つの型からの他に一度だけ変換に興味がある場合、[Cloud Upgrader](#) を参照して下さい。

Cisco IP MPP 電話

Cisco Multiplatform 電話 (MPP) はセッション開始プロトコル (SIP) を使用して Voice over Internet Protocol (VoIP) 通信を提供します。SIP はリアルタイム セッションを始め、維持し、終了する最も頻繁に使用されるシグナリング プロトコルです。これらのセッションは音声、ビデオおよびメッセージ アプリケーションを含むかもしれません。これは電話を会社の中で携帯用にする従来の電話線のための必要を省きます。VoIP によって、電話は T1 高価な電話線の代りに既存のネットワーク インフラストラクチャおよびインターネット接続を使用します。これは少数の「行とのより多くのコールを管理する機能を与えます。他の有利なオプションはコールが含まれていて、コール保留の状態で送信することが、着信転送、等々駐車します。いくつかのモデルは VoIP に加えてビデオ コミュニケーションを可能にします。

MPP 電話は正規の電話のように見えるために構築されがその目的でだけ、本質的に使用されます、コンピュータで、ネットワークの一部です。MPP 電話はインターネットテレフォニー サービス プロバイダー (ITSP) からのサービスまたは IP 構内交換機 (PBX) 呼出し制御サーバを必要とします。呼出す WebEx は本部を鳴らし、Verizon は ITSP の例です。Cisco MPP 電話を使用する IP PBX サービスのいくつかの例はプラットフォーム含み、アスタリスクをつけ、Centile Metaswitch。

Cisco Unified IP Phone

その Cisco Unified IP Phone はまたエンタープライズ ファームウェアでちょうど MPP 電話がように、提供します Unified Communication を動作します。それらにいくつかの一連の電話用の同じ数があります。ただし、これらの電話は Cisco Unified Communications Manager (CUCM) との使用のために、内部 コール マネージャ 専ら意図されています。小さいですか普通サイズ ビジネスのための禁則を要されるので、エンタープライズ ビジネスだけ、大きい会社、CUCM を購入します。

CUCM と併用するための意図されている電話は外部 ITSP か IP PBX と登録されることができません。それらは内部 CUCM だけと相互に作用するために構築されます。同じ点が CUCM と、MPP 電話使用することができないこと。

注: 最近ビジネスのための電話の間違ったモデルを購入した場合、正しいもののためにそれを交換する必要があります。

変換ファームウェア

戻ることがオプションではない場合、への一度だけ変換をまたは逆も同じ MPP からのエン

タープライズすることができます。これは各電話のために別途のライセンスの発注を必要とします。

変換を考慮することを望んだ場合詳細については [Cloud Upgrader](#) をクリックして下さい。

[変換のための FAQ を表示することを望んだ場合ここをクリックして下さい。](#)

電話または CUCM Call Manager の概要に関しては、次のリンクをクリックして下さい:

[Multiplatform ファームウェアが付いている Cisco IP フォン](#)

[Cisco Unified IP Phone](#)

[Cisco Unified Communications Manager \(Call Manager \)](#)